

1. 助成研究の紹介

本研究は、以下の二つの柱からなります。①チャイルドサポートチーム(院内多職種)が 18 歳以下の子供を持つがん患者さんと、その子供の心理的・社会的支援を行います。そして、その有効性の評価を行います。(前向き研究) ②がん患者さんの子供が生活している地域の行政・教育・医療機関と相互的・即応的なオンライン情報共有システムを構築し、実用化を目指します。

2. 前年度からの研究の進捗状況

現在、①の前向き研究に向けての、後ろ向き調査を行っています。2017 年度の当院初診患者が 14000 人でした。その、すべてのカルテを見直して、18 歳以下の子どもをもつがん患者さんの実態調査をしています。また同時に②についても、院内情報システム課と協力して、低コストで運営でき、かつセキュリティがしっかりとしたものを現在検討中です。

3. 全国の RFL 関係者に一言

GCLS(がん研チャイルド・ライフ・サポート)研究会は 2015 年 6 月に発足して以来、今年で 4 年目となりました。昨年度より活動内容の学会報告から始まり、後ろ向き調査が大詰めを迎えています。今後は、前向き調査を行い、全国へ我々の活動を広めることができたらと考えています。GCLS 研究会の合言葉は「がん研にかかわるすべてのこどもたちのために」ですが、本研究は、「すべてのがん患者のこどもたちのために」が合言葉です。壮大なテーマですが、一歩ずつ進めていきたいと思えます。皆様のご協力をよろしく願いいたします。